

BIMハンズオンセミナー

発注備え実務的技術習得

「BIMハンズオンセミナー」が1月31日、鹿児島市のmark MEIZAN（マークメイザ

ン）であった。建築設計に携わる県内の事業者や技術者ら約20人が参加して、具体的なモデリングをチームで取り組んだ。実務的な技術を身に付け、設計BIM発注に備える。

主催は、ixrea、

ゲンプラン設計、志賀設計室、西野設計（出水市）で、国の採択事業の一環として企画。各社とも普段からBIMを業務に使用している。

セミナーでは、3人1組のチームを編成し、仮想の県営住宅（RC造5階建て、20戸）を内部や外部、構造・レイアウトの三種類

で、それぞれ作業にあたった。講師を担当した東野幸史良氏（ゲンプラン設計）、西野智昭氏（西野設計）は「まずは使ってみて体感してもらえば」、「いざという時のためにスキルを磨いてほしい」と呼び掛けた。

参加者らは、試行錯誤しながら階段や壁、床、梁などを入力し平面、立面、断面図の作成に取り組んだ。

県も来年度から設計BIMの試行発注を予定するなど、受注者も技術として身に付ける時期にきている。志賀隆行氏（志賀設計室）、吉田浩司氏（ixrea）も「実務に特化した内容で今後に役立ててもらえれば」、「作業効率を上げる一つ。発注者にも受注者にもメ



具体的なモデリングをチームで取り組んだ＝鹿児島市のmark MEIZAN